

美篤保育園からこんにちは

令和4年3月



地域の皆様、こんにちは。日頃から保育園を温かく見守っていただきありがとうございます。
おかげさまで子どもたちは、心も体も大きくなって卒園・進級を迎えます。

～卒園します～



34名の卒園児が美篤保育園から巣立ちます。(全員美篤小入学予定)

1月末から自粛期間になってしまったため、年長児としての行事をいくつも中止せざるを得なくなり本当に残念でした。一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、思いきり楽しい小学校生活が送られることを願っています。 健やかに大きくなりますように！！
地域の皆様、よろしくお願い致します。

上手だったね！立派だったね！楽しかったね！

発表会：オペレッタ「ピーターパン」 劇「くものすおやぶんとりものちょう」



「ソニー幼児教育支援プログラム」に応募し「奨励賞」をいただきました

私たちが取り組んできた遊びの実践が認められ賞をいただくことができました。

「科学の心を育てる」をテーマに遊びを科学的に捉えての実践です。

遊んでいる子どもたちから発せられる「なんで? どうして?」「もっと～してみたい」の「好奇心」や「挑戦心」を私たちは見逃さず、これらの気持ちに答えられる保育を考え実践してきました。この好奇心や挑戦心こそが「学びの意欲」につながっていくからです。 **遊びには『科学の芽』がいっぱい!!**

○「泡あそび 色水は花を入れるときれいに出来るんだけど、なぜ泡に花を入れると泡が消えちゃうんだろう!?!」「どうやって泡に色をつけようか?」



○「雨どいをつなげて水やいろいろな物を転がしてみよう。もっともっと速く流したり転がすにはどうしたらいいかな?」「何を転がすとスピードが出るのかなあ?」

そんな子どもたちの思いに保育士も共に試行錯誤やチャレンジを続け、思いがかなった時は一緒に喜びます。子どもたちは「できたー!!」「やったー!!」という達成感と満足感を得て次の活動へ向かっていくことができます。

遊びの中から芽生える大切な『科学の芽』を見逃さず、いかに伸ばしてあげられるかを課題とし、さらに励んでいきたいと思えます。

楽しみは-7℃の 極寒の朝!

保育士のつぶやき

①「明日は-3℃だって・・・」

「えーっ! じゃあ氷は無理だな・・・」

②「明日は-8℃だって!!」

「ヤッター! 明日はいい氷ができるぞオー!!」

さっそく子どもたちとカップに水や色水を入れて準備!! 翌日カッチカチの氷で遊ぶことを共に楽しみにしながら極寒の寒さになることを喜ぶのでした。

今年は本当に寒かったですね。

保育園では寒さに負けず、逆に寒くなることを楽しみに、寒くないとできないことを、とことん楽しみました。

登園すると庭に飛び出して、昨日仕込んでおいた色水が凍っているか見に行く子どもと保育士!!

-2℃や-3℃だとちゃんと凍らないけど、-7℃にもなるとカッチカチに凍ってる。そんなカッチカチの氷が今年は何度も何度もできました。氷を型から出すと宝石のような氷が朝日にキラキラ☆

そんな氷で今年はいっぱい遊べました。



作っているのは「氷のおせち」
きれいに色付けした氷をお重型の入れ物に並べます。
さすが! 年長さん!!

「氷ののれんみた〜い! きれいだね!」一日中とけずにそのままだったので(それにもビックリ)お迎えのお母さんたちにも見てもらいました。